

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立三津屋小	学校	児童数	97
----------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.80	20.42	33.65	41.51	47.35	9.37	149.27	18.20	52.45
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.14	17.47	37.04	38.52	35.26	9.99	137.00	11.35	51.34
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

男子においては、上体起こし・反復横とび・50m走は全国平均を上回った。また、ソフトボール投げ以外の全ての種目において、大阪市平均を上回った。女子においては、反復横とび・20mシャトルランは大阪市平均を上回った。体力合計点については、大阪市と比較し男子が0.91ポイント上回り、女子については、1.24ポイント下回った。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」について、「好き」と回答した児童（男子）は、67.4ポイントで、全国（72.7）大阪市（74.3）平均を下回る結果となった。しかし女子については、62.2ポイントで、全国（54.1）・大阪市（54.5）平均を上回る結果となった。しかし、女子について、「嫌い」という回答が全国・大阪市平均より2倍程度多いのは今後解決していく課題である。

質問項目「1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合」について男子20.9ポイント、女子25.0ポイントとなり、男女とも全国・大阪市平均より運動していないことが分かった。また、総運動時間が0分である児童は男子11.6ポイント、女子12.5ポイントであった。男子は、全国・大阪市平均の約2倍、女子は大阪市平均を1.2ポイント高いこと（全く運動をしていない児童が多いこと）がわかった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本年度は、児童が体を動かすことが楽しいと思える体育科の学習をテーマに学校全体で取り組みを行ってきた。特に体育の学習の時間にできること（運動時間・量の確保等）を意識して、運動を楽しむ授業実践に取り組んできた。

授業では、運動量を考えながら目標設定と振り返り（記録カードを活用し「目標」や「めあて」の見える化）を行い教材・教具の工夫をすることで限られた場所での効果的な指導を行ってきた。結果、昨年度から課題であった柔軟性については、男子は全国平均を超え、女子についても大幅に改善し、大阪市平均に迫るまで差を縮めることができた。

意識調査からは、スポーツに関する意識の苦手意識を持つ児童や運動に接する時間が全くない児童が全国平均より多く課題であることがわかった。苦手意識の改善のため男女ともに体育の授業の中で体の使い方そのものを段階的に習得させ、できることを増やすことで、体を動かすことの楽しさを味わわせる取り組みを行っていく。

また、運動そのものへの興味関心を高めるためにスポーツ選手による特別授業などを企画し積極的に活用して運動への楽しさや興味関心を高めていきたい。